

TAU TIMES

vol.001

東京有明医療大ってどんなところ？
学科紹介
卒業生インタビュー!!
オープンキャンパスについて



CAMPUS FLOOR MAP

多彩な学びに対応する最新の設備を備えた学習施設や実りある時間を提供する憩いの空間が充実。
そんなTAUキャンパスの話題のスポットを大公開します!!

1F

柔道場

柔道実技の授業が行われます。放課後は柔道部や合気道同好会の練習所になります。まずは覗きについて見ましょう! パシッ! という音が聞こえてきたら、それは柔道の受け身の音です!

更衣室

看護実習のために着替える更衣室。
授業の後に、遊びにいくための準備をすることも。

看護実習室

看護実習が行われる場所。実際の現場と同じ環境で学ぶために、ベッドや看護師の使用する道具が保管されています。学生がそれぞれグループに分かれ、看護師役と患者役を演じて実際の現場を想像しながら行います。実技テストがあるときは、毎回ドキドキ!

4F

渡り廊下・標本室

標本室の隣にある学習スペースでは、ホワイトボードを使いながら勉強することができます。標本室では経絡人形や骨模型だけでなく、手首や足首など様々な関節の模型も保管されています。このフロアは鍼灸学科の学生がよく滞在する場所になっています。

401-406 号室

鍼灸学科の学生は4年生になると、この教室に缶詰になって勉強するようです。窓側からはキレイな夜景が見えるとか。

鍼灸実習室 510-511

鍼灸学科の実習に使う場所。実際に刺鍼したり、よもぎからもぐさを作ったりします。

図書館別室

周りの視線が気にならない環境だから、一人で利用する人も多い場所。ここで休んだりすることもあるんだとか。

図書館

各学科の専門書が幅広く揃っている図書館。とても静かな場所で、集中して勉強に取り組めます。テストや国家試験が近づくと、混雑して席を取るのが大変です。図書館の司書さんはとても優しく、本と一緒に探してくれたり、図書館のパソコンの使い方を教えてくれたりします。

5F

SAKURA GARDEN

授業の合間や放課後、ベンチで休んだり、お弁当を食べることもできます。春にはキレイな桜が咲き、緑が豊かで、とても開放的な気持ち良い場所です。芝生に座って景色を眺めながら花見をしてみるのも良いかもしれません。

FLEXIBLE SPACE

コンピューター室

論文検索や授業で提出するレポートの作成や印刷ができるとても便利な場所です。パソコンの使い方が分からなくても、職員の方がやさしく教えてくれます。

廊下

5つほどブースがあり、友達と一緒に勉強できる場所。ソファの座り心地が良いからリラックスして勉強できます。国家試験の勉強のために4年生がよく利用しています。

研究室

勉強していて分からなくなってしまったときは、気軽にここに来て先生に直接質問できます。先生によってはお菓子をくれるんだとか。

6F

実技実習室 710 / 711

3年生は実技テスト前になると、クラスの班ごとに分かれて、みんなで実技の練習をしています。何度も繰り返して、本番で失敗ないように頑張りますよ!

7F

STUDY TOGETHER!!

8F

ロビー

静かで座り心地の良い椅子が置かれたロビー。ここにはあまり人が来ないので、たまにプライベートな話をするために利用している学生もいるようです。東京湾の花火大会や毎週土曜日のお台場の花火がとてもキレイに見えるスポット。

教室 301-306

看護学科の授業のほとんどが3階の教室で行われます。1限から4限まで、すべて同じ教室で行われることもあり、移動が少なくて楽ちん! 放課後は他の学科生と授業の内容を話し合いながら勉強できます。大きな黒板を目一杯使えるのが良いところ。

ラウンジ

週に2回、生協のおじさんがやってきて、びっくりするほどお得な値段でお菓子を売っています。お腹が空いたら、買いにこう!

大講義室

頻繁には利用しませんが、外部の人の講演や筆記試験で利用する大講義室。広くて開放感があり、気持ちいい空間です!

3F

フィットネスセンター

アスレティックトレーナーコースや健康運動実践指導者コースの授業が行われる場所。テスト前はテーピングの練習をしたり、色々な種類のマシンを使い、トレーニング方法を学びます。

附属鍼灸センター

4年生になると、附属の鍼灸センターで実習を行うようになります。今まで勉強してきた皆さんの知識を復習しながら、実際に行われる治療の様子を見て学びます。授業で疲れたり、体調をくずしたら鍼を打ってもらいに行きましょう。学生や先生はたった¥1000!

HANADA HALL

普段はバスケットボールやフットサルなどのサークル活動が行われる多目的スペース。また、壁に座席が格納されており、入学式や卒業式、学会などの様々なイベントも行われます。

カフェテリア

カフェテリアはお昼頃になるとお腹をすかせた学生と教員が集まってきます。学食のおじさんはとってもフレンドリー。花田井や定番カレーのほかに、毎日違うメニューが楽しめます! お腹が空いてるときは、無料でご飯を大盛りにできます! 夕方になると、人が少なくなるので、勉強にも最適な環境です!

LUNCH / TIME

2F



Take a Break



東洋と西洋の医療を学び、時代に合った医療のあり方を考える。

本学科では、東洋医学の専門的な知識・技術だけでなく、現代医学の基礎的な知識も総合的に学びながら、これからの医療人に求められる幅広い知識やコミュニケーション能力を身につけることができます。また、授業や実習を通じて、鍼灸学に関する専門知識と治療技術を学ぶことができます。さらに、最新の研究に触れ、研究的思考能力を高めることで、鍼灸学の科学的解明に貢献できるようになります。

WHO(世界保健機構)はこんなに多くの効果を認めている！

一般的に、鍼灸治療は肩こり、腰痛、神経痛、関節炎などにのみ効果が有るように思われがちですが、WHO（世界保健機構）が鍼灸治療は以下の疾患に対しても効果があると認定しています。

- 運動器系疾患**
関節炎、リウマチ、肩こり、五十肩、腰痛、腱鞘炎、むちうち、捻挫など
- 神経系疾患**
頭痛、めまい、神経痛、自律神経失調症
- 消化器系疾患**
胃腸病(胃炎、消化不良、胃下垂、胃酸過多、下痢、便秘)、胆嚢炎、肝炎など
- 循環器系疾患**
動悸、低血圧症、高血圧症、息切れ、動脈硬化など
- 呼吸器系疾患**
気管支炎、喘息、風邪および予防
- 代謝内分泌系疾患**
痛風、貧血、糖尿病など
- 婦人科系疾患**
生理痛、月経不順、更年期障害、冷え性、膀胱炎、腎炎など
- 耳鼻咽喉科系疾患**
中耳炎、耳鳴、難聴、メニエル氏病、鼻出血、鼻炎、蓄膿(ちくのう)、咽喉頭炎など
- 小児科系疾患**
小児喘息、消化不良、夜尿症、食欲不振など
- 眼科系疾患**
眼精疲労、仮性近視、結膜炎、疲れ目、かすみ目、ものもらい

鍼灸治療はなぜ作用するのかということを科学的に明らかにするためのさまざまな基礎研究も行われており、これまでに、鍼による鎮痛メカニズムや血液循環(血行)改善のメカニズムなどが証明されてきています。しかし、まだまだ足りません。研究者がもっと増えることが期待されています。

INTERVIEW 01

患者さんと二人三脚で一生付き合っていく。

鍼灸師
健心堂はりきゅうマッサージ 勤務

東京都 関東第一高等学校 出身
〔2014年卒業〕

白倉 望 さん



Q なぜ、今の仕事を選んだのですか？

A 最近鍼灸接骨院が増えていますが、私は在学中から鍼灸一本で働こうと決めていたため今の治療院に就職しました。鍼灸治療を試しに部分的にやってみる患者さんも多く、医療行為というよりはマッサージの一環として来る場合もあります。しかし、値段が安いという理由ではなく、技術があるという理由で患者さんが通ってくれる鍼灸師を目指しています。今の治療院で、鍼灸師としての技術をしっかりと身に付けたいです。

Q どのようなときに仕事のやりがいを感じますか？

A 患者さんの状態が良くなるのは嬉しいですね。例えば、膝の曲がらない患者さんが正座が出来るようになったときは、喜んでくれて、「ありがとう」と言ってくれたのを覚えています。他にも、一生懸命処置に励んでいる方にお子様が生まれた事を聞くと、仕事のやりがいを感じます。ただ、治らないと求まなくなってしまう患者さんもいます。多くの場合、鍼灸治療に大切なのは体質改善なので、ご自宅でも体を温めるなどの行為を習慣化するようにお伝えしています。

Q 今後はどのような鍼灸師を目指しますか？

A 将来的には開業したいと考えています。鍼灸院を運営するには、地元の一の口コミがとても大事なのですが、そのために、地元の方々との関係を日々の治療によって深めていきたいと考えています。また自分が女性ということもあり、妊娠など女性独特の悩みなどの解決に力を入れたいです。将来自分の鍼灸院で、女性による女性のための鍼灸を追求しようと考えています。

Q 白倉さんにとって、鍼灸とはなんですか？

A 在学中、鍼灸は患者さんの症状を治す一方の行為だと思っていました。西洋医学では、病院でお医者さんが薬を出して患者さんの病気を治しますよね。そのようなものだと考えていました。しかし、学び始めてその考えは大きく変わりました。今は、鍼灸は患者さんと一緒になって症状を治すものだと考え、患者さんともに健康意識を高めています。患者さんと共に健康意識を高めるようなコミュニケーションが大切で、ご自宅が遅くなるんです。

人体の構造や機能を学び、日本の伝統医療を現代の医療に活かす。

骨折・脱臼・捻挫・打撲などの外傷を治療する柔道整復師は、日本発祥の柔術を起源として長い歴史を持っています。本学科では、柔道整復学を「理論」と「実践」から学び、「伝統と経験の技」を身につけることができます。さらに、接骨院や整形外科などでの研修を通じて、高度な臨床経験を重ねることができます。これによって、社会でも活躍する柔道整復師を目指すことができます。

歴史ある日本独自の伝統医療。自然治癒力を最大限に発揮させる。

日本古来の武術のひとつである「柔術」には、相手を殺傷する「殺法」と傷ついたひとを蘇生・治療する「活法」があります。殺法と活法は、発展変遷をとげ、現在「殺法」の技は競技柔道に継承され、活法は負傷者に施す治療法として「ほねつぎ」「接骨」として伝承され、「柔道整復術」となっています。柔道整復師は骨や関節、筋や腱、靱帯といった箇所が発生する骨折や脱臼、打撲、捻挫、挫傷などを手術をしないで治します。整復、固定などを行い、人間の持つ自然治癒力を最大限に発揮させるのです。

INTERVIEW 02

父の背中を見て選んだ道。信頼される柔道整復師を目指したい。

柔道整復師
根本接骨院 勤務

茨城県 常磐大学高等学校 出身
〔2013年卒業〕

中川 翔太 さん



Q 柔道整復の道に進んだ理由を教えてください。

A 高校三年の中ごろまでは別の職業にしようと考えていましたが、なかなか勉強でうまく行かず悩んでいました。そんな時、柔道整復師で花田学園の卒業生でもある父から大学について知りました。接骨院を開業していた父と患者さんのやりとりを見て、来院した時には痛みにも苦しんでいた患者さんが帰る時は笑顔になって帰っていく。このような光景を見て私も柔道整復師になりたいと思いました。

Q なぜ現在の就職先を選んだのですか？

A 今働いている接骨院院長の根本恒夫先生は大学でも講師として講義していただきました。その時、先生の骨折整復技術や包帯固定に魅了され先生のもっとも技術を学びたいと思い、就職先に決めました。勉強すればするほど知りたいことが増え、より多くの医療本を読むようになりました。現在は、地域の方に信頼される柔道整復師、そして子どもや選手にケガなくスポーツを楽しむようなようなアスレティックトレーナーを目標に、日々努力を重ねています。

Q 東京有明医療大学での4年間で、どんなことを得られましたか？

A 一番はコミュニケーション力です。私は元々と話をするのが得意な性格ではありませんでした。しかし、東京有明医療大学は少人数教育なので同期全員と深く関わり、先生方ともフランクな方が多かったので誰とでも進んで接することができるようになりました。仕事でも自分から話すことによって患者さんが気軽に話かけてきてくれたり、リラックスした状態で治療を受けられていると聞き、大学で得たことが活かされていると感じます。

Q ご自身にとって「医療」とは何だと思いますか？

A ケガや病気だけではなく心のケアをしてあげるのも私たちの「医療」だと思います。患者さんはケガや病気の心配だけでなく、気持ちも落ち込んでいたり、不安になっていたりと、認定看護師となること。多くの苦痛や不安を抱えるがん患者さんの支えになりたいと考えています。

1学年50名という少人数の環境で、人の生きる力を引き出すための看護を提供する力を養う。

本学科では、基礎、母性、成人や、在宅等の看護に対応した実習室も完備しています。シミュレーターを使った演習などを通し、高度な看護技術をしっかり身につけることができます。さらに、1学年50名という少人数制を活かし、お互いに触れ合い、実践的に看護を学ぶことができます。本学の病院実習は、高度医療が学べる東京大学医学部附属病院で行います。高度な医療技術に囲まれたなかで、基礎から段階を踏んで実習経験を積むことができます。

看護師、保健師、助産師も全て看護職のひとつ。自分がやりたい仕事を見つけよう。

【看護師】

- 主な仕事**
問診や各種検査、点滴、採血、注射、食事・排泄の補助、患者移送、検温や入浴の介助、体位交換、記録、巡回、ベッドメイキングなど
- 働く場所**
病院・診療所、訪問看護、介護保険施設、社会福祉施設、看護の教育機関など

【保健師】

- 主な仕事**
乳幼児健診・母親学級・健康相談、生活習慣病予防対策、各種健診、高齢者や障がいを持つ人々の家庭訪問、介護予防の取り組みなど
- 働く場所**
保健所、保健センター、企業などの健康管理室、病院・健診機関、学校の保健室



【助産師】

- 主な仕事**
出産の介助、妊産婦への保健指導、産後の母子のケア、育児指導や、不妊治療を行っている夫婦の相談、思春期・更年期の性に関する相談など
- 働く場所**
病院、診療所、助産所（開業が可能）助産師教育機関、保健所、保健センターなど

看護師の仕事と聞くと、患者さんの健康維持や病気の予防、回復のサポートなどを想像しますが、それだけではなく、患者さんとのコミュニケーションを通じて、その背景や心の底に隠れた気持ちを理解し、それぞれの患者さんに合わせた日々のケアを行います。決して簡単な仕事ではありませんが、そのやりがいのある重要な役割で、医療現場を支えるために非常に大切な仕事のひとつです。

INTERVIEW 03

様々な人と交流することで成長。多くのひとの支えになりたい。

看護師
東京大学医学部附属病院 勤務

神奈川県 立百合丘高等学校 出身
〔2013年卒業〕

金丸 紘子 さん



Q 看護師になったきっかけを教えてください。

A 看護師になりたいという思いが決意に変わったのは、同じく看護師だった憧れの母が、病気になり闘病生活を送っていたときです。看護師だった母の様に病気で苦しむ人の助けになりたいと強く思うようになりました。

Q 金丸さんにとって、看護師とはどんな仕事ですか？

A 東大病院の看護師として入院から処置、検査治療、退院までをサポートしています。業務に追われることもありますが、医師や看護師スタッフ、コメディカルスタッフとの連携を回りながら成長を実感できる毎日。看護の積み重ねが患者さんやご家族の笑顔につながったとき、大きなやりがいを感じます。現在の目標は、緩和ケアについて理解を深め、認定看護師となること。多くの苦痛や不安を抱えるがん患者さんの支えになりたいと考えています。

Q 東京有明医療大学での思い出を教えてください。

A 国際交流で、シンガポール国立大学に研修に行きました。語学力には難渋しましたが、海外での医療の実践や、看護教育について見て、触れることにより、共通する面や異なる面があり、とても新鮮でした。また、鍼灸治療や柔道整復師の概要を聞いたりすることで、東洋医学に関しても、興味をもち、特に鍼灸治療は現在緩和ケアに興味を持っている自分としては、鍼灸が持つ苦痛緩和に働かせる力を学ぶことができたので、今後のキャリアアップに活かしていきたいと思っています。

Q ご自身にとって「医療」とは何だと思いますか？

A 人がもつ生命力を引き出すものだと思います。その人らしく人生を過ごすために、病によって欠けてしまったものを医療のちからによって補い、引き出していけるのだと感じています。

OPEN CAMPUS

オープンキャンパスでは、鍼灸学科・柔道整復学科・看護学科で学ぶ楽しさを体感してもらうために、様々なプログラムをご用意しています。入学後の自分の姿をシミュレーションしてみませんか？

オープンキャンパスの日程

保健医療学部								看護学部			
5/28 (日)	6/18 (日)	7/23 (日)	8/6 (日)	8/27 (日)	9/17 (日)	10/21 (土)		6/18 (日)	7/23 (日)	8/6 (日)	10/21 (土)

プログラムの一部をご紹介

大学案内、学科紹介、体験コーナーをはじめ、資料配布・閲覧コーナーなど豊富なプログラムをご用意しています。



大学案内・学科紹介

入試制度やカリキュラム体制など、大学全体に関する説明を行います。また、各学科の紹介も行い、資格取得のための勉強方法や医療業界で働くことの魅力などの話を聞くことができます。



模擬講義

実際に大学で行っている授業を体験できます。鍼灸学科、柔道整復学科、看護学科の各学科で行っている専門的な講義内容を体感してみてください。



キャンパスツアー

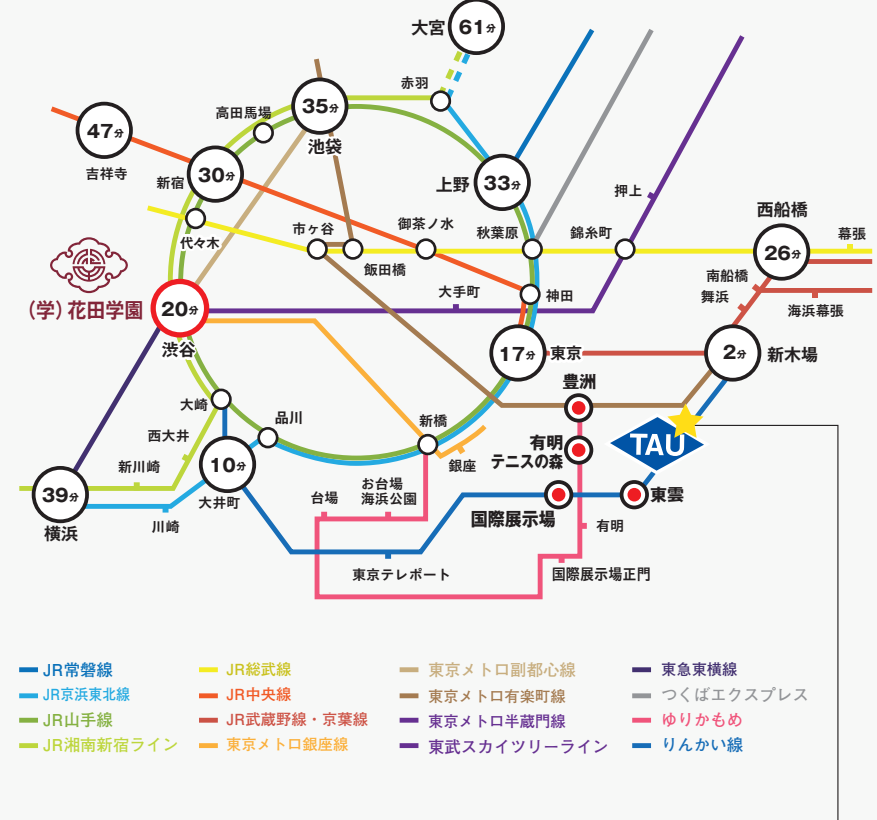
大学の様々な施設や設備を見ることができます。本学の雰囲気を知っていたたい、具体的な学生生活をイメージしてみてください。



個別相談コーナー

入試や学科、就職など本学が行っている教育や学生支援のことを自由に質問することができます。また、先生や職員スタッフ、大学の先輩からどんな楽しい学生生活を送っているのか聞いてみましょう。

ACCESS MAP



〒135-0063
東京都江東区有明2丁目9番1号

- りんかい線「国際展示場」駅下車徒歩 13分
- りんかい線「東雲」駅下車徒歩 13分
- ゆりかもめ「有明テニスの森」駅下車徒歩 10分
- 東京メトロ有明線「豊洲」駅下車
→ 都営バス 10分「有明小中学校前」
(東京レポート・東京ビッグサイト行き)下車すぐ

